



2024年度 いちごぐみ クラスだより

教賢教会幼稚園 園長 有岡史季
2月10日 発行 執筆者 渡菜々子



新しい年を迎え、早くも1ヶ月が経ちました。真冬の寒さに負けることもなく、元気いっぱいの子どもたちです。ホールでは「あぶくた、た」「色鬼」「たのまさんの日」など簡単なルールのある遊びを楽しんでいます。ルールを理解し、それを守りながら友達と一緒に楽しんだり、言葉の掛け合いの繰り返しの中でゲームの面白さを味わったり…更に遊びが深まっています。またお部屋では友達との関わりも盛んになり、ごっこ遊びを楽しみ沢山の会話が弾んでいます。アリスセスやお母さんに寄りきり、消防車やトカーなど働く車を真似たり…様々な人や物に変身する様子がとても可愛らしく、毎日楽しく遊ぶ姿が微笑ましい限りです。

いよいよ進級に向けて、この3学期は基本的習慣を振り返りながら過ごしています。ひとつ大きく存することに期待を持つ姿も見られるようになり、「もう少しでたんぽぽ組だ!」「自分でやってみる!」と頼もしい声が聞こえます。気持ちを受け止めながら見守り、支えていきたいと思ひます。さて、今月のクラスだよりは生活発表スパスナル号です!! これまでの取り組みの過程から見どころまで、たっぷりお届けします!!



『あーそーぼ』

あらすじ

女の子がぶたこちゃんの家へ「あーそーぼ」と誘いに行くと、ぶたこちゃんはお飯の真最中でした。「あーそーぼ」と言われますが、「いいな いいな」と一緒にご飯を食べて… ご飯が済んだら、さて次は誰を誘いに行くのでしょうか？

友達のところで一緒に掃除をしたり、お風呂に入ったり、どんなことも一緒にするとなんだか嬉しい気持ちになる、そんなほのぼのとした物語です。



教師のねがい

- 友達との関わりが深まり、言葉でのやり取りを楽しんでいます。絵本の「あーそーぼ」と繰り返す部分や他の動物たちとの掛け合いが今のいちご組の子どもたちの姿と重なり、劇にぴたりたと思ひ題材に選びました。物語の面白さを味わい、また大好きな友達と一緒に様々な経験を重ねる中で、更に仲間意識が芽生え、一緒に演じる、歌う、表現することの楽しさを味わってほしいと願いを込めました。

いよいよ本番…!!

楽しく取り組んできた劇を大好きなお家の人に早く見せたい!とワクワクの子どもたちです。当日はたくさんの人に見てもらうことで緊張もあると思ひます。一人ひとりのありのままの姿を支えていきたいと思ひます。あたたかな眼差しをお願いします!

やぎゅう まちこ作



取り組みの様子

初めて絵本を言葉で語る際には、興味津々に聞く姿が見られ、「次は誰のところに行くのかな?」「何をするのかかな?」と釘付けになり、「あーそーぼ」と一緒に声を合わせて見ていたのを覚えています。劇の取り組みが始まり、言葉の掛け合いを楽しんだり、必要な物を考え、子どもたちと制作したりしてきました。様々な動物が登場する場面ではサルの真似をして出てくる友達が…!するとウサギ役の子が「ヒョコヒョコしてる!」と話し、子どもたちだけで動きを考え、役に寄り添って演じ始めました!!豊かな想像力が素晴らしいです。「今日も劇したい!」「明日もはようね!」と意欲的に取り組む姿がとても嬉しかったです!

👁️見どころ!!

🌸 小道具 🌸
劇中で使用する小道具や草むら、家、タオルなどは子どもたちと一緒に作り上げました。また、それぞれが被るお面は教師が作、土台に目を描いたり、ホクコを選んでついたりして丁寧に作りました。

🎵 歌 🎵

歌うことが大好きないちご組にぴたりの曲『たのしいね』手を叩くところや、サビの部分では友達と手を繋ぐなどの動きがとても可愛いです。🌸元気いっぱいに歌う姿をお楽しみに!!